



かしまホットニュース

鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.52

市のホームページでもご覧いただけます

1. 「現代の名工」に！ 東亜工機(株)の 瀧上政徳さん！

令和2年度の「現代の名工」に東亜工機(株)の瀧上政徳さんが選ばれました。「現代の名工」とは、卓越した技能者表彰制度に基づき、厚生労働大臣によって表彰された卓越した技能者のことです。瀧上さんは、長年にわたり大型船舶用エンジンの主要部品であるシリンダ・ライナ等の高級鋳物の鋳造に携わってこられました。製品は、安全面から強靱性や耐摩耗性を要求されるため、日々技術・技能の研鑽を行い、製造技術を向上されてきました。鹿島市では、ここ十数年で6人も選ばれており、「ものづくりのマチ鹿島」を支えていただいています。



現代の名工に選ばれた
東亜工機(株)の瀧上政徳さん

2. 「家めし&店のみ」キャンペーン！ 独自の経済対策！

新型コロナウイルス感染症の経済対策として大変好評であった鹿島市独自の経済支援「家めし」キャンペーンの第2弾「家めし&店のみ」キャンペーンを11月21日から実施しています。今回は、参加対象を飲食店に加え、生鮮食料品店や酒販店にも拡大しています。飲食店のテイクアウトやデリバリーの利用、または生鮮食料品店や酒販店で、お支払500円毎に200円のクーポン券が発行されます。そのクーポン券は、次のテイクアウトやデリバリーはもちろん、店内の飲食代としても利用できます。多くの皆様に利用していただくことが、お店の支援にもつながります。ぜひ、この機会にお得なキャンペーンをご利用ください。参加店の最新の情報は、特設のホームページをご覧ください。



「家めし&店のみ」キャンペーンのロゴとホームページのQRコード

クーポン券の発行：令和3年1月31日(日曜日)まで、または、なくなり次第終了。

クーポン券の有効期間：令和3年2月14日(日曜日)まで

3. 鹿島市から2団体出演！ 佐賀県伝承芸能祭！

11月23日に、佐賀県伝承芸能祭が開催され、総出演10団体の内、鹿島市から「琴路神社の獅子舞」と「嘉瀬ノ浦獅子浮立」の2団体が出演し、「琴路神社の獅子舞」は「NHK佐賀放送局局長賞」を受賞されました。佐賀県伝承芸能祭は、地域の宝である伝承芸能を次の世代につないでいくために、多くの方に体感していただき、その素晴らしさを味わっていただくことが大切だとの思いで、平成30年から始まり今年で3回目です。これまでに開催された3回全てに鹿島市から出演しており、県内で一番の出演団体数となっています。それだけ、鹿島市には多くの伝承芸能が残っているということだと思います。今回は、鹿島市の中原恵峰工房の中原恵峰さんによる浮立面彫りの実演ブースが設置され、また、鹿島市出身のタレント岩屋美咲さんも特別ゲストとして登場するなど伝承芸能祭を盛り上げていました。



佐賀県伝承芸能祭に出演した嘉瀬ノ浦獅子浮立

4. 「スポGOMI」大会！ 鹿島市で初開催！

チームでゴミを拾い、そのゴミの質と量を競う「スポGOMI」大会が鹿島市で初めて開催されました。これまで、奉仕活動として、毎年「肥前鹿島干潟」の海岸でゴミ拾いを行ってきました。今回は、楽しんでゴミ拾いが出来るように、スポーツの要素を加えて実施しました。当日は、30チームの140人が参加され、参加者は、競いながらも楽しんでゴミ拾いをされていました。今回のイベントが有明海の環境保全を改めて考える契機になったものと期待しています。



スポGOMIの様子 →

5. 「防災の日」研修会！ 災害に強いマチを目指し！

11月21日、「かしま防災サポーターズクラブ」の主催で「防災の日」研修会が七浦公民館で開催されました。当日は、「身近にひそむ災害リスク」と題して、佐賀県防災士会の溝上良雄さんが講演されました。参加者は、溝上さんの話真剣に耳を傾け、鹿島の防災について改めて考えていました。サポーターズクラブでは、市民の防災意識を高めるきっかけとなる活動を毎年行っていただいています。また、鹿島市では、全世帯の約9割が各地区などで組織されている自主防災組織に属しており、災害に備えていただいています。「災害に強いマチづくり」を目指している鹿島市にとって、このような組織の活動は不可欠なものであります。



防災の日」研修会の様子

鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。

